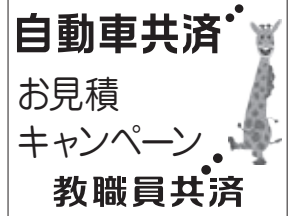




発行人 福島県教職員組合
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
 [定価一部 20円]
 編集・責任者 瀬戸 禎子
 e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
 http://www.f-t-u.or.jp
 (この購読料は組合費に含まれています。)



2022 県教委確定交渉終了! 3年ぶりにボーナス引き上げ!! 子育て休暇の対象が18歳に拡大! 組合の粘り強い要求が実現!

11月22日に県教育委員会との確定交渉が実施されました。今年度も、コロナ禍での交渉となったため、各分会からの一般動員は行わず、中央執行委員と各支部代表の参加で臨みました。

確定交渉では、定年引上げについても交渉事項となったため、通常的时间より延長して行いました。前回の提示交渉で出された、「高速道路利用の7日ルール」については、教員だけの適用だったため、事務職員や栄養職員も対象となるよう継続交渉となりました。

そして、今回の交渉で、組合が長年要求し続けてきた「子育て休暇」の対象が18歳まで拡大されたことは、大きな成果です。組合員の数の力が、組合という組織があるからこその実現です。今後も、粘り強い要求を続け、組合員の声に応えられるようがんばっていきます。



2022秋闘交渉結果

① ボーナスを 0.1月分引上げ

「期末手当」「勤勉手当」の両方を0.05月分ずつ引上げ（全国の中でも福島県だけ）

→ 非常勤講師、休職中の方も引上げの対象に！

② 初任給を中心に若年層の給料月額を引上げ

③ ガソリン価格上昇に相当する通勤手当の引上げ（300円～7,200円）

④ 高速通勤「7日ルール」の特例を設ける

夏季休暇取得期間の7～9月は、高速道路を使用しない日が3か月で平均7日を超えなければ、減額調整を行わない。（教育職のみ）

⑤ 子育て休暇の対象を満18歳以降の3月31日まで拡大（2023年4月1日から）

⑥ 定年延長に関する条例案→12月県議会で条例化

その他要求した内容

人員不足の現状

代替・補充者の配置ができていない学校の悲惨な状況を訴え、「短時間勤務だったら仕事をしてもらいたい」という人の確保について、県教委としての考えを求めた。

教職員の多忙化について

「自分手帳」を学校で活用することに対して、県教委が作成している手引きにも記載されているが、家庭での活用が基本であることを強く訴えた。



“分けない”からこそ学べることもある！ 2022年度日教組東北ブロック 障がい児教育学習会福島集会

11月12日に「東北ブロック障がい児教育学習会福島集会」を開催しました。オンラインで東北ブロックと関東ブロックの各県会場をつなぎ、福島県の参加者は教育会館に集まって参加しました。インクルーシブ教育についての講演を聞き、それを受けて分散会を行いました。

【全国の情勢について】

日教組障がい児教育部長の佐伯安彦さんから、障がいのある子を取りまく情勢について報告していただきました。

年々、特別支援学級及び在籍児童生徒数が増加しており、2022年には33万人を超える勢いです。また、文科省から「公立小中学校等施設におけるバリアフリー化の加速について(通知)」が2020年12月25日に発出されており、2025年度末までに要配慮児童生徒等が在籍するすべての学校にエレベーターを整備する目標が設定されているようです。こういった全国の情勢や文科省の動きを聞くことができ、大変参考になりました。



【講演会】



講演は、北海道旭川市の忠和中学校で教員をされている曾我部昌広さんから「カズと仲間たち～「分けない」からこそ生まれた絆と合理的配慮～」というテーマで話していただきました。2017～19年の3年間、重度知的障がいに伴う自閉症の「カズキくん」を普通学級で担任された経験から、同じクラスで一緒にいる時間を共有することで自然と理解しあえること、成長したのはカズキくんだけではなく、クラス全員がカズキくんを理解しようとし、成長した、という内容でした。

サプライズで本人とお母さん、そして同級生が講演に参加され、現在のカズキくんの様子や当時の話をお母さんから聞くことができました。「とにかく生徒を心から理解すること」「できないと決めつけない」「生徒を信じて任せること」「成長の芽をつまない」など、多くの言葉が心に残りました。

【分散会】

会場に集まったメンバーで分散会を行いました。分散会とは、参加者がいくつかのグループに分かれて、講演会の感想を話し合ったり、日頃の学習指導等で自分が困っている悩みを相談したり、参加者が語り合える会です。講演会を受けて、以下のような感想が出ました。

「インクルーシブ教育全体のとらえ方や日頃からの生徒の見方を根本から変えていく必要がある。」「インクルーシブの“みんなで育ち合う”姿を実感しました。子ども同士だけでなく、大人も含め社会全体が成熟できることを感じ、感動しました。」

今は特別支援学校・学級へと“学びの場を分ける”教育を行っていますが、教員定数を改善し教育環境を改善することで、周囲の子どもも大人も大きく成長できる可能性があることに気づかされた集会となりました。



各専門部東北ブロック学習会をオンラインで開催!

11月5日 臨時採用教職員部

県臨時採用教職員部交流会・学習会を兼ね、郡山といわきの2会場を設定しました。

ランチトークとして昼食を食べながら交流した後、名古屋大学大学院教授の内田良さんによる講演、東北各県からの報告を聞くことで、臨時採用教職員の働き方の課題について考えることができました。



11月12日 栄養教職員部



日教組栄養教職員部長の三宅宏枝さんを講師に迎え、栄養教職員の再任用短時間勤務がある他県の実態や、全国の仲間の働き方など、栄養教職員にかかわるさまざまな情勢報告をいただきました。

さらに全体会各県交流では、福島県からの実態を報告し、東北各県との情報交換を行いました。

11月19日 養護教員部

日教組養護教員部長の安村美代さんからの基調提案を受け、日本ペップトーク普及協会の堀寿次さんから「ペップトーク」(アメリカで生まれた、人をやる気にさせるトークスキルのこと)について学びました。

分科会では、ICTを活用した保健指導、zoomを活用した養護教員部員の組合活動の事例が提案されました。



吉田書記次長の ふくしまオルグ紀行④

9月号に続き、新たに組合の仲間となってくださった方からの声をご紹介します。

Kさん(会津地方・小学校教員)

① 「組合に入ろう」と思ったきっかけは?

「組合の方のお話を聞き、少しでも力になれば、自分にできることがあるなら…」と思い、入りました。」

② 今のお仕事をめざしたきっかけは?

「小学生の頃から『教える』ことが好きで、
職業にしたいと思いました。」

③ これから、どんな学校(職場)になってほしいと考えますか?

「悩み事を相談でき、安心して働くことができる職場になってほしいです。」

私がオルグに伺った際に、同僚の先輩組合員がKさんとの話のきっかけを作ってくれ、組合の大切さについて、真剣に耳を傾けてくれました。

「自分にできることがあるなら…」というKさん。組合の仲間であってほしいことが、何より大きな支えになります。

ありがとうございました!



11月まで実施してきた県教組キャラバンや支部でのオルグを通して、今も組合の仲間の輪がどんどん広がっています。「これって何とかならないものかなあ?おかしいよね?」など、職場でのちょっとした会話が、組合の話につながるきっかけになるかもしれません。今後も、新たな仲間の声を掲載していきたいと思ひます。

新春プレゼント企画☆クロスワードパズル

県教組組合員のみなさま、本年は大変お世話になりました。日頃の感謝の気持ちを込めて、昨年好評だった新春プレゼント企画を今年も実施いたします！クロスワードパズル正解者の中から抽選で、豪華賞品をプレゼントいたします！新春プレゼント企画でリフレッシュしていただければと思います。みなさま、どうぞ良いお年をお迎えください。

特賞！ 「あづま荘」ペア宿泊券！ 5組 10名様

公立学校共済組合飯坂保養所 飯坂温泉あづま荘様のご厚意によります。
その他、豪華商品(提供：教職員共済様、弘済会様他)も当たります!!



応募方法

ハガキまたは県教組LINE公式アカウントへのメッセージでご応募ください。

①下記A～Dに入るキーワード ②支部名 ③分会名 ④名前 ⑤県教組への一言 を記入。



A～Eに入る文字をつないでできるキーワードは何でしょう？

A	B	C	D

※当選者の発表は、各分会への景品発送にて代えさせていただきます。

LINEアカウントは
コチラ！



締め切り

2023年1月13日(金) 必着

宛先

〒960-8134 福島県福島市上浜町10番38号 福島県教職員組合 宛

21	20	19	17	15	13	11	9	8	7	5	4	3	2																					
の象徴。	頭が小さくて丸く、	地面の下。	乗合自動車。	人に乗ることができる	囲い。	木や竹を組んで作った	えなど。	合に備えてたくわえて	安くてお得。	将来の使用や万一場	句は夏～冬。水深15	0メートルから100	0メートルに棲息。非	常に美味だが粘液に汚	れており、鱗がザラザ	ラで見た目が悪いため	観光旅行など。	雪景色を眺めながら、	酒を飲むこと。	大麦から作る発泡酒。	様々な所をまわる冬の	象動物。	募集に応じて申込むこ	と。	ほっそりした体の哺乳	類。オスは角が生える。	北海道では冬季狩猟対	象動物。	崖から流れ落ちる川の	流れ。寒い地域ではこ	れさえ冬に凍る。	寝具を使わず、その場	にごろりと横になって	寝ること。

タテのカギ→

ヨコのカギ→

- 1 羽根突きを使う、柄のついた長方形の板。
- 4 教えること。教えられたこと。
- 6 学校や仕事などの休み。
- 8 軽微な発熱。平熱より少し高い体温。
- 10 物事の仕組みや組み立ての大きさ。
- 12 厚いこと。「氷の○○○をはかる」
- 13 一方が高く傾斜があり、人や車が上り下りしている道。
- 14 紅色の宝石。
- 16 結晶のあらい、ざらざらした砂糖。
- 17 ヒグマが越冬するために秋に大量に食べる魚。
- 18 模様。物の性質や感じ。ふさわしい立場や性質。
- 19 小さな紙筒や竹筒に火薬を詰めて多数つないだもの。
- 21 空にくもの少ない状態。
- 22 旬は秋～冬。スーパーにほぼある野菜。主に煮物で料理されるのが一般的。

